

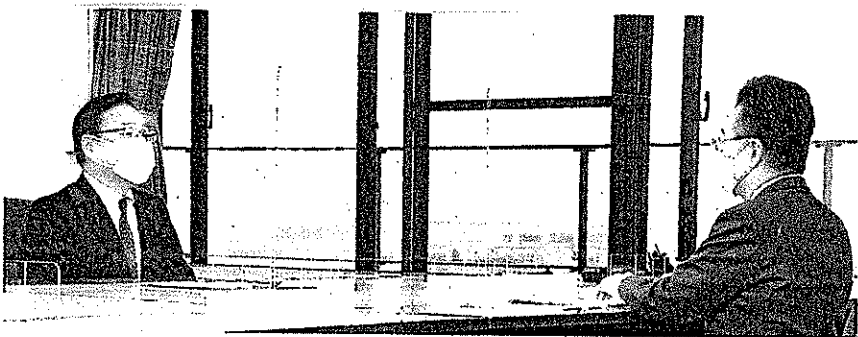
美浜町長が再稼働同意

40年超原発、2例目

運転開始から四十年を超えた関西電力美浜原発3号機（美浜町）を巡り、同町の戸嶋秀樹町長は十五日、再稼働に同意した。原子力規制委員会が四十年超運転を認可した全国四基の原発で、立地自治体が再稼働に同意するのは、関電高浜原発1、2号機が立地する高浜町に次いで二例目。――関連の②面

戸嶋町長は町役場で竹仲良広議長と会い、「同意の判断に至る要件が全てそろった」と同意する旨を伝えた。町議会は昨年十二月に既に同意している。再稼働には県や県議会の

同意も必要。関電の森本孝社長は今日十二日、県が求めた原発使用済み核燃料の中間貯蔵施設の県外候補地について、二〇二三年末を最終期限として確定させると杉本達治知事に報告した。これを受けて、杉本知事は四十年を超えた原発三基の再稼働に向けた議論を始める考えを示している。戸嶋町長は今日十二日、梶山弘志経済産業相とオンラインで面談し、町が国に求めた地域振興などの要望に「前向きな回答をいただいた」と再稼働に同意する姿勢を示していた。



杉本知事（左）に美浜原発3号機の再稼働に同意した経緯を話す戸嶋町長。15日、県庁で

知事「議論の前提満たす」

杉本達治知事は十五日、県庁で美浜町の戸嶋秀樹町長と面談し、戸嶋町長から関西電力美浜原発3号機の再稼働に同意した報告を受けた。杉本知事は「県も今後の対応を検討したい。立地町の考えをしっかりと受け止める」と答えた。十六日の県議会二月定例会初日に議会側に対し、美浜3号機と高浜原発1、2号機（高浜町）の再稼働同意について議論の開始を求める。

杉本知事は面談後に取材に応じ「再稼働については、関電から期限や覚悟が示された」と改めて

県議会議長 早期判断に慎重

関電が示した青森県むつ市の中間貯蔵施設を電力各社で共用する案を巡っては、同市が「あり得ないことだ」とコメントを出して反発している。杉本知事は「いずれの地域でも課題があり難しい。それを乗り越えて、国が責任を持って課題の解決を」と求めた。県議会の畑孝幸議長は十五日、報道陣の取材に、二月定例会中の議論の進展について「早急に結論が出る問題ではない。いろいろな要素が絡む」と述べ、早期の判断には慎重な考えを示した。（今井智文）